

第3章

計画の体系と分野別の取り組み方針

1. 計画の体系

将来像の実現に向け、計画の体系（6つの分野目標と31の施策項目）を次のとおり定めます（町民アンケート調査の今後のまちづくりの特色（P20）を踏まえて設定）。

分野目標	施策項目
1 健やかでやさしい 健康・福祉のまち	① 保健・医療 ② 子育て支援 ③ 高齢者支援 ④ 障がい者支援 ⑤ 地域福祉 ⑥ 国民年金・低所得者福祉
2 快適で安全・安心な 生活環境のまち	① 環境保全 ② ごみ処理等環境衛生 ③ 上・下水道 ④ 公園・緑地 ⑤ 消防・防災 ⑥ 交通安全・防犯 ⑦ 消費者対策
3 次代を担う人を育む 教育・文化のまち	① 学校教育 ② 生涯学習 ③ スポーツ ④ 文化芸術・文化財 ⑤ 青少年健全育成
4 活力と交流あふれる 元気産業のまち	① 農林水産業 ② 商工業 ③ 観光・交流 ④ 雇用対策
5 未来への生活基盤が 整ったまち	① 土地利用・市街地整備 ② 道路・公共交通 ③ 情報化 ④ 住宅、定住・移住対策
6 みんなの力でつくる 自立したまち	① 町民参画・協働 ② コミュニティ ③ 人権尊重 ④ 男女共同参画 ⑤ 行財政運営

2. 分野別の取り組み方針

1 健やかでやさしい 健康・福祉のまち

- ① 保健・医療
- ② 子育て支援
- ③ 高齢者支援
- ④ 障がい者支援
- ⑤ 地域福祉
- ⑥ 国民年金・低所得者福祉

すべての町民が健康で長生きできるよう、充実した保健・医療環境を生かし、きめ細かな保健サービスの提供、安心できる医療の確保を図るとともに、次代を担う子どもが一人でも多く生まれ、健やかに育つよう、町全体で子ども・子育てを応援する体制の強化を図ります。

また、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるよう、充実した福祉環境や人情味あふれる町民性を生かし、介護・福祉サービスの充実、身近な地域で支え合う地域福祉活動の促進を図るほか、すべての町民が安心した生活を送れるよう、社会保障の施策を推進します。

2 快適で安全・安心な 生活環境のまち

- ① 環境保全
- ② ごみ処理等環境衛生
- ③ 上・下水道
- ④ 公園・緑地
- ⑤ 消防・防災
- ⑥ 交通安全・防犯
- ⑦ 消費者対策

“世界の酒沼”に代表される水と緑の豊かな自然が息づくまちとして、ずっと住みたくなる、移り住みたくなる美しく快適な生活環境づくりを進めるため、総合的な環境保全対策やごみ処理等環境衛生対策を推進するとともに、快適な生活に欠かせない上・下水道の充実、憩い・やすらぎの場となる公園・緑地の充実を図ります。

また、すべての町民が安全・安心に住み続けられる、あらゆる危機に強いまちづくりを進めるため、全国各地で相次ぐ大規模災害の教訓を踏まえた消防・防災体制、減災体制の一層の強化を図るとともに、近年の環境変化を踏まえた交通安全・防犯対策、消費者対策を推進します。

3 次代を担う人を育む 教育・文化のまち

- ① 学校教育
- ② 生涯学習
- ③ スポーツ
- ④ 文化芸術・文化財
- ⑤ 青少年健全育成

次代を担う創造性豊かで心身ともに健やかな人材の育成、この町で子どもに教育を受けさせたいと思えるまちづくりに向け、これまで整備してきた学校教育環境を生かし、「人づくり教育」をさらに進めるとともに、町民一人ひとりが自ら学び、活動し、充実した人生を送れるよう、生涯学習社会の形成を進めます。

また、すべての町民が生きがいと感動に満ちた暮らしを送れるよう、町民主体のスポーツ活動や文化芸術活動の促進、有形・無形の貴重な文化財の保存・活用を図るほか、人づくりの一環として、学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成に向けた取り組みを進めます。

4 活力と交流あふれる 元気産業のまち

- ① 農林水産業
- ② 商工業
- ③ 観光・交流
- ④ 雇用対策

特色ある農業のまちとして、今後とも農業をまちづくりの中心に据え、多角的な農業振興施策を積極的に推進するとともに、洄沼を生かした水産業の振興に努めます。

また、活力あるまちづくりに向け、2つの工業団地への企業誘致や商工業経営の安定化の支援などにより、商工業の活性化を図るとともに、交流人口の拡大と観光・交流から移住への展開を見据え、多彩な観光・交流資源や農家民泊・農漁業体験の取り組みを生かし、観光・交流機能の強化、友好交流都市との交流の充実を図ります。

さらに、これらの産業振興施策と連動しながら、雇用の確保・拡大に向けた取り組みを推進します。

5 未来への生活基盤が 整ったまち

- ① 土地利用・市街地整備
- ② 道路・公共交通
- ③ 情報化
- ④ 住宅、定住・移住対策

町全体の一体的・持続的な発展に向け、未来につながる計画的な土地利用・市街地整備を推進するとともに、恵まれた立地条件・道路条件を生かす視点に立ち、また、町民の利便性・安全性の一層の向上に向け、国・県道の整備促進や町道網の整備、地域公共交通の充実を図ります。

また、町民サービスの向上や行財政運営の効率化はもとより、地域活性化に欠かせない社会基盤として、町全体の情報化をさらに進めていくほか、人口減少の抑制に向けた取り組みの一環として、定住・移住の基盤となる住宅の整備・確保や、定住・移住を直接的にサポートする施策を推進します。

6 みんなの力でつくる 自立したまち

- ① 町民参画・協働
- ② コミュニティ
- ③ 人権尊重
- ④ 男女共同参画
- ⑤ 行財政運営

人情味あふれる町民性を生かしながら、町民や関係団体、民間企業、大学等の積極的な参画・協働を促し、「全員参加」によるまちづくりを進めるとともに、支え合い助け合い、ともに地域をつくるコミュニティ活動を促進します。

また、すべての人の人権が尊重され、ともに生き、ともに活躍することができるよう、人権尊重社会・男女共同参画社会の形成に向けた取り組みを進めます。

さらに、自立・持続可能な経営体制の確立に向け、行財政全般について常に点検・評価し、さらなる行財政改革を推進するとともに、広域連携による効果的・効率的なまちづくりを推進します。

茨城町第6次総合計画「いばらきまち未来への道しるべ」 総論・基本構想の構成

総論

茨城町の概況

【位置と地勢、町の歩み】

- ・茨城県の中央部、東京都心から約100kmの距離にあり、東は大洗町、南は鉾田市及び小美玉市、西は笠間市、北は水戸市と接する
- ・東西17km、南北14km、総面積121.58km²
- ・標高20m～30m程度の台地が大半を占め、概ね平坦な地形
- ・東部には涸沼があり、これに注ぐ河川流域には田園が広がる
- ・昭和30年2月11日に、長岡村（同日町に改正）、川根村、上野合村、沼前村の4か村が合併して誕生
- ・昭和33年に、石崎村を編入合併し、現在の町域が形づくられる

【人口の推移】

- ・総人口32,921人、増減率△4.6%
→人口減少が加速
- ・年少人口比率11.3%、
老年人口比率30.8%
→少子高齢化、特に高齢化の進行

生かすべき特性・資源

- 1 多様な農畜水産物
- 2 “世界の涸沼”に代表される水と緑の豊かな自然
- 3 恵まれた立地条件・道路条件
- 4 2つの工業団地の存在
- 5 多彩な観光・交流資源
- 6 充実した保健・医療・福祉環境と教育環境
- 7 人情味あふれる町民性

反映すべき町民の声

(1) まちに対する愛着・誇りと今後の定住意向

まちに対する愛着・誇り
「感じている」—— **53.7%**
今後の定住意向
“住み続けたい”—— **69.4%**

(2) まちの各環境に関する満足度

【満足度が高い項目】

- 1 位 上下道の整備状況
- 2 位 保健サービス提供体制
- 3 位 消防・救急体制

【満足度が低い項目】

- 1 位 公共交通の状況
- 2 位 道路の整備状況
- 3 位 雇用対策の状況

(3) まちの各環境に関する重要度

- 1 位 医療体制
- 2 位 上下道の整備状況
- 3 位 下水道の整備状況
- 4 位 消防・救急体制
- 5 位 高齢者支援体制

(4) 今後のまちづくりの特色

- 1 位 健康・福祉のまち
- 2 位 快適住環境のまち
- 3 位 子育て・教育のまち

対応すべき時代の流れ

- 1 急速に進む少子高齢化・人口減少
- 2 高まる安全・安心への意識
- 3 高まる環境・エネルギーへの意識
- 4 求められる教育再生・スポーツ振興への取り組み
- 5 厳しい状況が続く地方の産業・経済
- 6 さらに進む情報化・国際化
- 7 重要性を増す支え合い助け合うコミュニティ
- 8 強く求められる地方の自立

新たなまちづくりへの主要課題

【最重要課題】

人口減少を
食い止める

【分野ごとの主要課題】

- 1 保健・医療・福祉施策、子育て支援施策の一層の充実
- 2 環境の保全と安全性の向上を重視した生活環境の整備
- 3 特色ある教育・文化行政の推進
- 4 農業を柱とした産業の育成と観光・交流機能の強化
- 5 未来を見据えた便利で安全な生活基盤の整備
- 6 協働のまちづくりと行財政改革の推進

基本構想

まちづくりの基本理念

- 1 住むことを誇れるまちづくり
- 2 人が行き交うまちづくり
- 3 協働のまちづくり

将来像

三世代が共に輝く元気交流空間
夢と希望を未来へつなぐまち

人口の目標（平成39年度）

32,540人

土地利用構想

- (1) 3つのゾーン
 - 市街地形成ゾーン
 - 自然環境保全ゾーン
 - 集落環境保全ゾーン
- (2) 7つの拠点
 - 商業・業務拠点
 - 複合生活拠点
 - 地域生活拠点
 - 行政サービス拠点
 - 産業集積拠点
 - 自然・交流レクリエーション拠点
 - 農業関連産業拠点
- (3) 3つの骨格軸
 - 広域連携軸
 - 都市間連携軸
 - 水と緑の連携軸

分野目標

1 健やかでやさしい健康・福祉のまち

- 施策項目
- ① 保健・医療
 - ② 子育て支援
 - ③ 高齢者支援
 - ④ 障がい者支援
 - ⑤ 地域福祉
 - ⑥ 国民年金・低所得者福祉

2 快適で安全・安心な生活環境のまち

- 施策項目
- ① 環境保全
 - ② ごみ処理等環境衛生
 - ③ 上・下水道
 - ④ 公園・緑地
 - ⑤ 消防・防災
 - ⑥ 交通安全・防犯
 - ⑦ 消費者対策

3 次代を担う人を育む教育・文化のまち

- 施策項目
- ① 学校教育
 - ② 生涯学習
 - ③ スポーツ
 - ④ 文化芸術・文化財
 - ⑤ 青少年健全育成

4 活力と交流あふれる元気産業のまち

- 施策項目
- ① 農林水産業
 - ② 商工業
 - ③ 観光・交流
 - ④ 雇用対策

5 未来への生活基盤が整ったまち

- 施策項目
- ① 土地利用・市街地整備
 - ② 道路・公共交通
 - ③ 情報化
 - ④ 住宅、定住・移住対策

6 みんなの力でつくる自立したまち

- 施策項目
- ① 町民参画・協働
 - ② コミュニティ
 - ③ 人権尊重
 - ④ 男女共同参画
 - ⑤ 行財政運営